

技術情報

長崎県病害虫防除所長

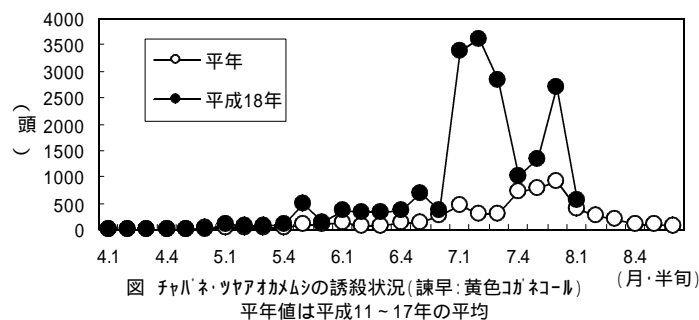
平成18年度病害虫発生予察技術情報第3号

果樹カメムシ類当年世代成虫の発生量及び 果樹園への飛来時期の予測について

越冬世代成虫の発生が多い状況が続いてきましたが8月上旬以降は終息に向かい(図)、今後は当年世代成虫に入れ替わる時期となります。

現在、当年世代は主にヒノキきゅう果上に生息し、きゅう果が餌として好適な間はきゅう果上にとどまっています。しかし、吸汁が進むと餌として不適になり、ヒノキから離脱し、果樹園へ飛来します。

当年世代成虫の発生量や各地域ごとの果樹園への飛来時期は下記のとおり予測されますので、防除指導の参考にしてください。



記

1 当年世代成虫の発生量について

- (1) 6月下旬に実施した、ヒノキきゅう果着生状況調査(県内14地域、ヒノキピーティング調査地周辺での達観調査)では、平年並の着生量であった。
- (2) (社)長崎県医師会が春季に実施しているスギ・ヒノキの花粉飛散数調査の結果、スギの花粉数1696個(平年1387個)、ヒノキの花粉数415個(平年400個)であった。なお、花粉数は県内8カ所の平均値である。
- (3) 当年世代の発生量は、越冬世代の発生量とは相関がなく、スギ・ヒノキきゅう果の着生量との相関が高い。そのため、当年世代成虫の発生量はほぼ平年並であると予測される。

2 果樹園への飛来時期について

7月27～31日に実施したヒノキきゅう果の口針鞘数調査の結果、県内14地域の予

測飛来日は8月12日～9月16日(表)で、県平均は9月7日である。

表 各地域の果樹園への予測飛来日

地域名	口針鞘数	予測飛来日	地域名	口針鞘数	予測予測日
長与町岡	4.0	9月4日	東彼杵町赤木	2.2	9月11日
時津町子々川	1.6	9月13日	佐世保市針尾	2.6	9月9日
西彼町小迎	0.8	9月16日	佐世保市宮	5.1	9月1日
西海町木場	1.4	9月13日	瑞穂町伊福	3.5	9月10日
多良見町東園	10.6	8月12日	国見町百花台	5.6	9月2日
諫早市長田	1.9	9月12日	有家町新切	2.8	9月12日
大村市今村	7.6	8月23日	北有馬町田平	2.7	9月13日

注1 7月27～31日に各地域5カ所(1カ所20果)を調査した。

注2 1果当たりの口針鞘数が25を超えるとカメムシはヒノキきゅう果から離脱する。

注3 予測は福岡県農業総合試験場が作成した予測式を利用した。

3 防除上注意すべき事項

- (1) 多良見町、大村市では当年世代成虫の果樹園への飛来は8月に見られると考えられ、越冬世代成虫と当年世代成虫の発生がほぼ連続すると思われるので、今後もしばらく園での発生に注意する。
- (2) 他の地域では、8月下旬から9月上旬にかけていったん園での発生は落ち着くと思われるが、9月上旬から中旬にかけて飛来が始まると考えられるので、警戒を怠らないようにする。
- (3) 飛来量や飛来時期は同一地域内でも園によって異なる場合があるので、園をこまめに見回り、早期発見・早期防除に努める。
- (4) 収穫時期が迫っているので使用期間に注意する。また、今年は5月以降長期間に渡って発生が多く、薬剤の使用回数が多くなっているため、過去の薬剤散布履歴を十分に確認し、使用回数の限度を超えないよう注意する。
- (5) 今後の発生状況は予察情報や病虫害防除所ホームページ(下記参照)に掲載する予定であるので防除の参考にする。

病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

「防除所ホームページ」を利用して、ながさき農林業総合情報システム(一部会員制、アドレス：<http://www.n-nourin.jp/>)やその他の情報を閲覧することができます。

この情報に関するお問い合わせは、電話またはEメールでお願いします。

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027， Eメール：kngs0301@sp.jppn.ne.jp